



「エイドステーション」ってなんだろう？

～ 災害時の帰宅困難者ための支援場所～
の設置訓練に参加しませんか！？

ご家族やお友達も一緒にボランティア！
まずは、そろっと経験してみよう！！



日時：11月17日（土曜日）10時～16時（一部分参加可）

場所：杉並区善福寺4-3-6「善福寺」

【上石神井（西武新宿線）から徒歩約7分 / 西荻窪（JR）から徒歩約10分】

参加費無料！（昼食にはおいしい非常食「アルファ化米」を試食します）

主催：2007年首都圏統一帰宅困難者対応訓練実行委員会

（主管：東京災害ボランティアネットワーク）

後援：東京都 杉並区 中野区 中央区 千代田区 新宿区 練馬区 西東京市 東京商工会議所 など

首都圏での大地震の発生はいつ起きても不思議ではありません。大地震発生直後には都心の**公共交通機関網は寸断**され、多くの方々は都心から郊外の自宅まで**歩いて帰らなければ**ならない可能性があります。この方達が安全に自宅へたどり着き、**無事に家族と再会**するためには、周囲の**人々の手助け**が必要だと考えられています。災害直後では公共機関はその対応に追われる事が予想されます。そこで、地域の自治会、沿道の企業や商店など**様々な人々が協力し合う**必要があります。「その日その時」に備えて、この機会にみんなで一度疑似体験をしてみましょう。ここから私たち自身で**自分たちの命を守る**準備を始めましょう！！



大地震があったら家族とちゃんと会えるか心配・・・
まずは、体験をしてみよう！！



体験できること

帰宅困難者サポート拠点「エイドステーション」立ち上げ&運営訓練
「災害伝言ダイヤル」171（NTT）の使い方（使用方法の冊子進呈）
携帯電話「災害伝言板」（携帯各社）の使い方（使用方法の冊子進呈）
災害用非常食「アルファ化米」の調理と試食（五目ご飯など）
段ボールで作る非常時の「手作りトイレ」作り方実験



エイドステーション（AS）とボランティアの役割

注：訓練では各エイドステーションによって機能がちがいます。



「声をかける」（励ましと情報提供）

「がんばってください！」「あと キロでゴールです！」「大丈夫ですか？」など、被災し混乱した状況のなかを不安な気持ちで歩く人たちを励ましましょう。

水（飲み物）や 食べ物の提供。

歩く人たちが無事に自宅付近までたどり着くための水分・栄養補給をサポートしましょう。ペットボトル飲料の配布、空になった容器に水やお茶を足すなどの作業を行うほか、可能であれば、お湯を沸かして災害用非常食「アルファ化米」を調理して、容器に小分けにしたものを配布する事なども考えられます。

「アルファ化米」などの災害用非常食は区の防災倉庫などに備蓄されています。



トイレの確保。

安心して使えるトイレを確保。場所がわかりにくければ地図等で案内します。

休憩できるスペースの確保。

「ほっと一息」が大事。災害時だからこそ「判断力の低下」が起きないように、それぞれの体力に合わせて無理をしない（させない）事が大切です。恐怖心など、精神的な負荷に加えて、被災した危険な状況下で歩かなければなりません。また、気候によっては暑さ寒さ、雨などにより体力を奪われます。自宅付近まで確実に「徒歩帰宅」を続けられるように休憩できる場所を確保しましょう。



応急救護

災害時の医療機関では、重傷や大けがを負った人たちの対応で追われます。エイドステーションでは医師や看護師が居なくても、ちょっとした怪我や靴ずれなどに対応できるように、包帯や消毒液など「救急セット」を準備しましょう。

さまざまな情報の提供

大災害の時には「デマ・流言」などが起きやすく、人々が混乱しやすい状態になります。無事に歩いていくためにエイドステーション周辺の安全情報や交通情報、次のエイドステーションやその他の支援などについての情報を集めてわかりやすく掲示しましょう。また、NTTの災害伝言ダイヤル「171」や各携帯電話会社が災害時に運用する「災害伝言板」等の使い方情報も案内しましょう。

～ お問い合わせ～

(社)シャンティ国際ボランティア会

緊急救援担当：白鳥 孝太 / 木村 万里子

電話 03-5360-1233 / FAX 03-5360-1220

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階

